



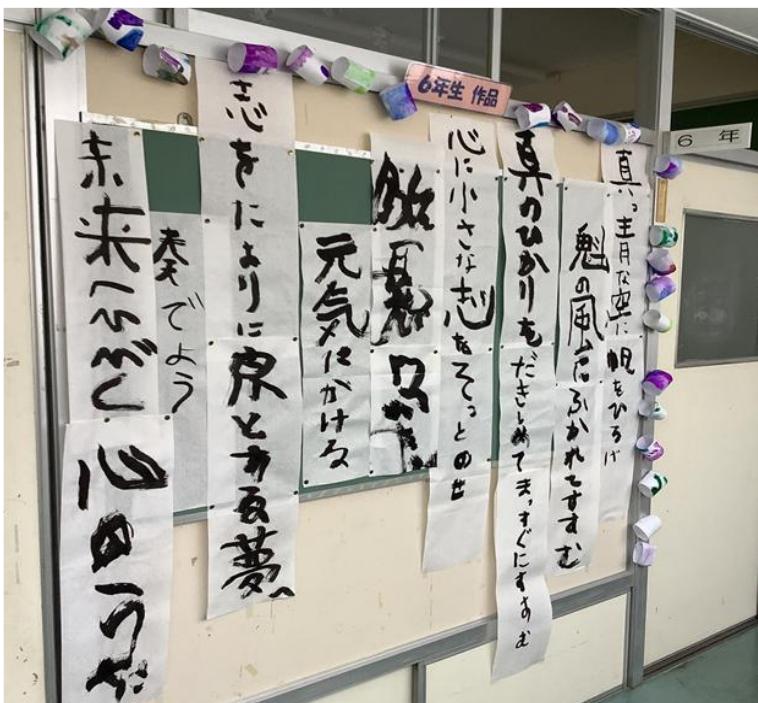
チームたかとく・はくれい
 「なかよく学び すすんで働く」「希望・意欲・自立」
 子どもの育成を目指して -本校 校長たより⑯-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上松 武



■こころを込めて ひと筆 ひと筆 ~小・中学部、高等部 書き初めから~



- 各学部の廊下には「午年」のように生き生きと躍動感にあふれる書き初めが掲示されています。
- 「書き初め」は日本の伝統的な正月行事で、新年の目標や抱負を決め、心を引き締める意味があるそうです。
- お題は「今年の目標を漢字で表そう」や「卒業に向けての言葉を書こう」、「思いのままに筆を一人で動かして書いてみよう」など様々でした。
- ひと筆、ひと筆、一文字一文字、筆の運び方や力の入れ方、文字のバランスや配置など、子どもたち一人一人をそのまま表していて、どの書き初めも味があります。

- 上の写真は、小学部6年生の作品です。「自分の名前に使われている漢字を使って、卒業を控えた自分たちへのエールを書こう」というお題で書いたそうです。どの書き初めも元気が出る、すてきなエールです。私もこのような心持ちで、今年度を締めくくれるよう頑張ります！
- 私が書き初めで書くとしたら「貢献」。157名の子どもたちが、今と将来に必要な学びが積み重ねられる学習環境を整えること。そして、そのために先生方が、やりがいを感じながら子どもたちに向き合える職場環境を整えること。さらには障がいのある方々が、いつでもどこでも自分らしく豊かに人生を送れる「まち」をつくっていくこと。これらのこと達成し遂げることで「貢献」したい。子どもたちの書き初めを見て、一層強く想いました。

■入学選考検査

○後輩を迎える準備

- 1月29日の午後、高等部の生徒全員が翌日の入学選考検査の会場準備を行ってくれました。
- いくつもの教室で、ロッカーを移動して床の掃き掃除や雑巾がけ、椅子や机の運び込み、ストーブの設置、そして男子と女子のトイレ掃除など、どこも心の行き届いた準備がなされました。どの生徒も笑顔でキビキビと自分の持ち場を仲間と協力して準備してくれたお陰です。
- 準備中の生徒たちに「後輩を迎える準備ができましたね」と声を掛けると、「ハイ!!」と元



気よく笑顔で答えてくれました。とても気持ちがよかったです。

- ・毎日の清掃活動をしっかりとやっているから、特別な状況でも当たり前のようにできていて頼もしく感じました。一生懸命な姿であり、とてもかっこよく見えました!! これも、先生方の日頃の指導支援のお陰です。ありがとうございます!!

○次の階段(ステージ)への準備

- ・中学部3年生は、3学期に入ると早々に入学選考検査に向けて面接練習に繰り返し取り組んでいました。
- ・ノックはゆっくりと3回、ドアを開けたら「失礼します」と挨拶、名前をはっきりと大きな声で言うことなどを繰り返し学習していました。
- ・選考検査当日までの間でも、学習の成果を発揮していました。例えば、お便りを職員室に取りに来る際に、ゆっくりと3回ノックし、自分の名前を大きな声でハキハキと名乗って入室するなど、生徒たちが当日を意識した行動が見られていました。
- ・選考検査当日はとても緊張したことと思います。しかし、普段から行動できるように習慣化していたため、学習の成果を発揮できたのではないかと思っています。
- ・一生懸命な姿であり、とてもかっこよく、清々しさを感じました!! 検査日当日だけではなく、普段から!という先生方の指導のお陰です。ありがとうございます!!

■ペア学年で、追い出したいオニ 🦇 を退治! ~2/3 小学部豆まき会~

- ・小学部で豆まき会がありました。まず、ペア学年で「おこりんぼオニ」や「ゲーム止められないオニ」など、普段ついやっちゃんういけないことや自分の心の中にあるよくない『追い出したいオニ』を発表し合いました(右の写真は1年生と4年生のペア学年の発表の様子です)。
- ・今年度は、この「ペア学年」での活動が随所で行われ、上級生は下級生を気遣い、そんな上級生に下級生は憧れるといった『自分を高める関係性』が築けています。
- ・『追い出したいオニ』を追い出すため、体育館へ移動して豆まきをしました。そこには赤鬼と青鬼の他に、ご当地キャラクターのガンギが再び来校してくださり、子どもたちは大喜び!
- ・子どもたちは、ガンギと一緒に「おには～そと! ふくは～うち!」と、新聞紙で作った大きな豆を赤鬼や青鬼に投げながら、自分自身の『追い出したいオニ』と戦っていました。
- ・『追い出したいオニ』を無事追い出せたのか、今後の小学部の子どもたちの行動に注目したいと思います。



2